

「年末・年始、生活困窮者への炊き出し活動支援」

派遣労働者切りの問題が社会問題となり、2009年末、日比谷の「年越し派遣村」がマスコミに取り上げられ大きな波紋を社会に投げかけた。

この問題を受け関係者が、2009年11月に「越年対策連絡会」（現在は「路上生活者支援連絡会」）が立ち上げた。

そして2009年の年末から2010年年始にかけて年末年始に困窮者対象に炊き出し活動を実施している諸団体への支援をすることが決まり、2009年12月23日には日本キリスト教協議会（NCC）が主催した説明会参加を各団体に呼びかけた。

その後、連絡会では、2010年にも6月と11-12月に講演会と炊き出し等の説明会を実施し、2010年末から2011年始にかけて、再度申請があり、臨時助成した。

本、2011年は震災の影響で各団体とも、本来の活動に資金が集まりにくくなっていることが、7月に開催した連絡会で報告された。そして、昨年に引き続き、年末年始に炊き出し活動を実施する諸団体を支援したいと考え、当財団に助成申請してきた。

本申請についてはNPFプログラムの助成小委員会に付託した。また、支援先団体と100万円の配分については申請団体と協議、また支援先団体からの情報を事務局が収集し決定することになった。